

OTK

支える

No.39

大阪府重症心身障害児・者を支える会
全国重症心身障害児者を守る会
大阪支部

★決して争ってはいけない、争いの中に弱いもの生き残る場はない
★親個人がいかなる主義主張があっても重症児・者運動に参加する者は党派を超えろこと
★最も弱いものを一人もれ無く守る

第11回定期総会・記念講演開催



来賓挨拶
障害者施策部 久保 誠造 課長



社会福祉法人愛徳福祉会
南大阪療育園
理事長 梶浦 一郎 氏

去る六月四日(金)「たかつか」において、第十一回定期総会並びに記念講演会が開催されました。
鈴木会長の挨拶に始まり、来賓挨拶、平成十五年度事業報告、会計報告、監査報告、平成十六年度事業計画、予算計画、役員会の選任へと議事を進行し、各議案とも出席者の承認を得、成立しました。
昼食を挟んで、午後一時より、「社会福祉法人愛徳福祉会 南大阪療育園」理事長 梶浦 一郎氏の記念講演が開催され、参加者は真剣な姿勢で聴講されました。
別室では障害者もたれた本人を対象とした催しが行われ、総会、記念講演共に和やかな雰囲気の中、無事開催することが出来ました。

平成十五年度事業報告

基本方針、並びに活動方針に従い、重症心身障害児者が地域の中で当たり前に暮らしにしている社会作りを目指して、本年度においては次のような活動をいたしました。
本年度より、支援費制度の導入に合わせて、大阪府分会を中心に設立された特定非営利活動法人「大阪重症心身障害児者を支える会」による居宅介護事業の実施を通じて、直接支援のあり方の検討を始め今後の事業についての検討を行って来た。支援費についての会員からの問い合わせや相談並びに支給量についての苦情等の対応が予想以上に大きく、研修会等の開催等に影響したことは否めない。今後、会員からの開催の相談について積極的に応じるための準備が必要と思われる。

1. 会員の拡大のための事業
研修会等の開催或いは機関誌等の配布に合わせ、会のパンフレット等の配布を行った。また、ホームページを作成し、情報の提供や各団体等とのリンク等を通じて会のPRに努めた。
2. 研究に関する事業
研修会の実施について、重症心身障害児者の介護に関する研修会並びに支える会セミナーが開催不足のため実施できなかった。
・強度行動障害児者問題を考える講演会
・行動障害児者問題を考える講演会
・支える会の方針を明らかにする講演会

二〇〇四年二月八日(土)
午前10:00～午後4:00
会場 アヒオ大阪(大阪市立労働会館)
講師 飯田 雅子氏(総合福祉センター) 弘譜学園 園長
「行動障害児者に伴う、重度の知的障害の私たちの実践」

中島 洋子氏(旭川荘・療育センター)児童院 院長代理
「必要な施策や取り組みの具体的な内容」
※守る会近畿ブロック共催

3. 交流事業
総会終了後、会員の意見交換と共に交流会を実施
二〇〇三年五月(六日)(月)
会場 長原障害者スポーツセンター
4. 啓発事業
大阪府との懇談会(二〇〇三年七月(八日))
医師的ケアが必要な方のショートステイ事業について
市内施設の子育て支援施設への転換について(府所管) 府立施設の民営化と、郡公立運営の概略について

5. 機関誌の発行

- ◆◆月刊活動報告◆◆
- 四月 運営委員会 発行
- 五月 総会・意見交換会
- 六月 運営委員会 発行
- 七月 運営委員会 発行

- 八月 運営委員会
- 九月 運営委員会
- 一〇月 機関誌「支える」発行
- 十一月 運営委員会
- 十二月 運営委員会
- 一月 運営委員会
- 二月 機関誌「支える」発行
- 三月 運営委員会

守る会関係

- 近畿ブロック運営委員会
平成五年 四月(五日)(土) 大阪府立青少年会館
- 平成五年 六月(七日)(土)
- 平成五年 一〇月(四日)(土)
- 平成五年 二月(九日)(土)
- 平成五年 二〇〇二年 二日 敦賀市国立福井病院、サンヒア敦賀
- 平成五年 六月(二九日) 岐阜ランドホテル(岐阜市)
- 専門部会
平成五年 九月(六日)(土) 神戸市身障センター
- ブロック研修会
平成六年 一月(七日)(土) 大阪国際会議場(グランキューブ)
- 「福祉施策の転換期を迎えて」厚生労働省近畿厚生局訪問
平成五年 二月(八日)(月) 大阪市中央区

平成十六年度事業計画

基本方針
重度の障害者を持つていても一人の人間としての人格と個性を持つて居ることを認識し、重症心身障害児者が当たり前の人間として、当たり前の生活を続けられることを支えていく。

活動方針

支援費導入後の多くの問題が指摘され、大きな不安を抱えながらも、重症児者にとっても、在宅生活を支えるための大きな役割を持つ制度が、本当に機能するかどうか問われるところである。本会において、こうした状況の中、支援費にかかる問い合わせや移動に際する等の支援、居宅介護にかかる支援及び移動等についての支援等について取り組んできたが、本年度より積極的に組織改革も含めてよりスムーズに活動できる体制づくりにも取り組み、権利擁護や福祉サービス等の質の向上につながる活動についても取り組んでいきたい。また、本年は支部発足一〇周年にあたり、これを記念すると共にこれまでの活動を総括するためにも記念事業を実施したい。

1. 会員の拡大のための事業

・ホームページの運営を行う。
・ホームページの作成を行う。
・ホームページの運営により、情報の発信及び情報交換の場を持つ。

2. 研究に関する事業

・会員並びに関係者等の情報交換及び研修の場として実施しているセミナーの開催、並びに強行行動障害に関する研究会等の各種の研修会等を開催する。
☆重症児者の介護に関する研修会
☆強行行動問題に関する研修会

2003年度 収支決算書

自2003.4.1至2004.3.31

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
41 会費収入	771,200	31 事務費支出	494,793
01 正会員会費収入	675,200	01 職員給料	0
02 協力会員会費収入	96,000	02 職員給料	0
42 寄付金収入	705,187	03 職員給料手当	0
01 寄付金収入	705,187	04 法定福利費	0
43 事業収入	386,430	05 旅費	41,290
01 バザー収入	0	06 一般物品費	27,801
02 その他の事業収入	386,430	07 固定資産物品費	0
44 補助金収入	0	08 印刷製本費	74,135
01 地方公共団体補助金収入	0	09 光熱水費	0
02 公益事業補助金収入	0	10 会議費	36,795
45 本部助成金収入	0	11 修繕費	1,970
01 本部助成金収入	0	12 雑費	299,457
46 雑収入	337,057	13 燃料費	0
01 雑収入	337,057	14 雑費	15,315
47 設備資金借入金収入	0	32 事業費支出	303,026
01 設備資金借入金収入	0	01 研修会開催費	250,000
48 引当金戻入	0	02 レクリエーション活動費	0
01 修繕引当金戻入	0	03 分営活動費	0
02 備品等購入引当金戻入	0	04 調査費	0
03 人件費引当金戻入	0	05 印刷製本費	53,026
49 積立金戻入	0	06 その他の事業費	0
01 建設積立金戻入	0		
02 その他の積立金戻入	0	33 本部会費	317,600
		01 本部会費	317,600
		34 近畿ブロック会費	2,000
		01 近畿ブロック会費	2,000
		35 雑支出	0
		01 雑支出	0
		02 雑支出	0
		36 積立金繰入	0
		01 建設積立金繰入	0
		02 その他の積立金繰入	0
		37 引当金繰入	1,100,000
		01 修繕引当金繰入	0
		02 備品等購入引当金繰入	0
		03 人件費引当金	1,100,000
当期収入総計	2,199,874	当期支出総計	2,217,419
前期繰越金	17,545	当期繰越金	0
収入合計	2,217,419	支出合計	2,217,419

3. 交流事業

会員相互の交流のための事業、並びに情報交換等のための会員による集会等の実施
☆家族交流会の実施

4. 啓発事業

大阪府並びに各市に積極的に情報提供を行うと共に実施に応じた施策の実施を求めていく。

5. 支部発足一〇周年記念事業

☆記念講演・記念イベント
☆重症児施設建設支援のためのチャリティ美術展

6. 機関紙の発行

会員の広報の場として機関紙「支える」を発刊し、会の活動の強化及び会員の拡大に繋げる。
(年間六回発行)

◆ 月別活動予定 ◆

- 四月 運営委員会
- 五月 運営委員会
- 六月 機関紙「支える」発行
運営委員会
第一回定期総会(四日)
記念講演会(四天王寺さんいん苑
さんいんい合共催)
- 七月 運営委員会
- 八月 機関紙「支える」発行
運営委員会
- 九月 機関紙「支える」発行
運営委員会
(集団療育キャンプ)

大阪府重症心身障害児・者を支える役員名簿

◎任期2006年総会

役職	氏名	役職	氏名
1 会長	鈴木 祥子	12 "	津垣 良隆
2 副会長	寺岡 富子	13 "	岡本 汎美
3 副会長	成田 憲子	14 "	山村 寿子
4 副会長	岩田 幸江	15 "	菊永 裕子
5 会計	中谷 弘子	16 "	江藤 信子
6 会計監査	平野 健三	17 "	市村 八重子
7 運営委員	今村 成種	18 "	柳 晴美
8 "	今井 清行	19 "	向井 裕子
9 "	上田 敦子	20 "	原田 薫
10 "	新川 サカエ	21 "	藤岡 咲子
11 "	速藤 雅恵		



微生物と私たちの生活 -第2回-

第1回のお話で微生物は、私たちが普段口に入れているたくさんの食物に使用されている事を説明しましたが、今回は、微生物と土に関するお話しをします。

先日テレビを見ていましたら現在、私たちが食べている野菜の栄養素についてある大学の農学博士が話されていましたが、今から約40年前の昭和30年代の野菜と現在の野菜の栄養素を比べると現在私たちが普段スーパーなどで購入している野菜の栄養素は、昭和30年代の野菜に比べると栄養素が、その7分の1しか無いことがわかったそうです。ちなみに、ミネラル野菜と表示してある野菜までもが栄養価の低い野菜であることがわかったそうです。

昔、食べたニンジンのお味を思い出して下さい。なぜ、あの時代の子供がたくさんニンジン嫌いになったのか…。最近のニンジンは本来のニンジンがもっているニオイや味覚が失われている様に思えます。本来のニンジンは、独特のニオイや固さをもっている為、ニンジン嫌いの子供がたくさんおりました。私もそのうちの1人でした。しかし、栄養素の高い野菜と低い野菜と健康にはどちらが良いのか判断するまでもありません。

●なぜ現在の野菜は栄養素が低くなってしまったのか。

その答えは土であるの一言です。日本の経済が高度成長期である昭和30年代半ばから農業に従事する人が減ってきた為、できるだけ手間隙かげずに農業を維持する為にさまざまな化学肥料や農薬が開発されました。そのおかげで農業も以前より楽になり、農家の方も大変喜ばれました。しかし、近年になり何かがおかしい事に農家も消費者も感じ始めました。それは農家にとっては最愛の土が年々やせてゆき、良質の作物がとれなくなり、消費者にとっては口に入れる野菜は化学薬品だらけで「食べ続けるとと病気になるのでは」と思う気持ちが、何かがおかしいと感じ始めたのです。

●土の栄養バランス

化学薬品を長年使用してきた土は、土自体が栄養バランスを崩し、その土からできる作物は、もちろん栄養価の低い作物しかできません。栄養価の高いバランスのとれた土とは、土に木葉や動物の糞といった有機物を土壌微生物 = 有用微生物が分解して植物に必要な酵素やミネラル成分を溜り出し、ミミズが棲む栄養価の高い土にしてくれます。しかし、化学薬品を使用する事により、これらの有用微生物が死滅してしまい、やせた土からは栄養価の低い作物しかとれなくなり、消費者にとっても最悪です。土の栄養分であるチッソ、リン、カルシウム等がよく売られているのを見かけますが、その大半は化学薬品を使用して造られたものです。本来の微生物が自然に溜ったものではないのです。



最近、有機農法ということばをよく耳にしますが有機農法とは、自然の有機物と有用微生物が一体となり、一切の化学薬品を使用しない農法である事を覚えておいて下さい。現在エジプトのサハラ砂漠も日本の援助により有機物と有用微生物にて緑化が進んでいます。私たちが身の回りにはたくさんの自然界の有用微生物が棲んでいます。これら有用微生物をもっと利用して壊してきた環境を蘇らせる事が未来の子供の為に必要と信じています。

2004年度 収支予算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
41会費収入	900,000	31事務費支出	1,650,000
01正会員会費収入	700,000	01職員俸給	0
02協賛会費収入	200,000	02職員手当	0
42寄付金収入	500,000	03賃金	1,100,000
01寄付金収入	500,000	04法定福利費	0
43事業収入	150,000	05旅費	50,000
01バザー収入	0	06一般物品費	50,000
02その他の事業収入	150,000	07固定資産物品費	0
44補助金収入	800,000	08印刷製本費	100,000
01地方公共団体補助金収入	0	09光熱費	0
02公益事業補助金収入	800,000	10会議費	50,000
45本部助成金収入	0	11修繕費	0
01本部助成金収入	0	12雑費	300,000
46雑収入	25,000	13燃料費	0
01雑収入	25,000	14雑費	0
47設備資金借入金収入	0	32事業費支出	1,450,000
01設備資金借入金収入	0	01研修会開催費	800,000
48引当金戻入	1,100,000	02レクリエーション活動費	500,000
01繰越引当金戻入	0	03分會活動費	50,000
02備品等購入引当金戻入	0	04調査研究事業費	50,000
03人件費引当金戻入	1,100,000	05機関誌出版費	50,000
49積立金戻入	0	06その他の事業費	0
01建設積立金戻入	0		
02その他の積立金戻入	0		
		33本部会費	350,000
		01本部会費	350,000
		34近畿ブロック会費	5,000
		01近畿ブロック会費	5,000
		35雑支出	20,000
		01慶弔費	20,000
		02雑支出	0
		36積立金繰入	0
		01建設積立金繰入	0
		02その他の積立金繰入	0
		37引当金繰入	0
		01繰越引当金繰入	0
		02備品等購入引当金繰入	0
		03人件費引当金繰入	0
当期収入額計	3,475,000	当期支出額計	3,475,000
前期繰越金	0	当期繰越金	0
収入合計	3,475,000	支出合計	3,475,000

「重症心身障害児施設 建設支援 の為に チャリティー 絵画展」 (現代国際巨匠絵画展)



一 実行委員会ご協力のお願い 一

大阪市にて地域の人々を支える重症施設建設が準備されています。財政不足にもひるまず、重い障害のある人たちの支援をチャレンジして下さる施設建設の勇士を支えるためにこの絵画展を企画しました。皆様もより良い施設を造るために一翼を担ってください。

◎とき 平成16年10月9日(土)、10日(日)、11日(月) (予定)

◎場所 阿倍野 アポロホール

※第一回、実行委員会会議は平成8月18日(水)です。

お手伝いして下さる方は事務局までご連絡下さい。

大阪府重症心身障害児者を支える会事務局 TEL:06-6624-2555 FAX:06-6624-2565 担当:清水

◇◇ 近畿ブロック専門部会議開催 ◇◇

日 時：平成16年9月4日(土) 13:00~16:00
場 所：神戸市立心身障害福祉センター
内 容：4専門部に分かれて討議、最後に全体会で部長が経過報告

- ① 在宅部会
- ② 国立施設部会
- ③ 重症児施設部会
- ④ 動く重症児部会

※参加希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。

大判出力致します。

垂れ幕、ポスター等を大型カラープリンタより印刷致します。
イベントやお知らせ等の使達の目的にお気軽にご利用して下さい。

★大きさや色数により値段が変わります。

- モノクロ1色=610ミリ→1,000円/m、910ミリ→1,500円/m
- カラー2色=610ミリ→1,500円/m、910ミリ→2,000円/m
- フルカラー=610ミリ→2,000円/m、910ミリ→2,500円/m

基本(610又は910ミリ)×00メートルです。
ご不明な点は支える会事務局までご相談下さい。



大阪市の指定を受けました

支える会流の3つの安心

1. お安い値段設定。
2. 利用者にあった商品と一緒に探します。
3. ご注文の品を配達します。 ※※大阪市内のみ。




◎現時点の取扱商品メーカーはリブドゥ、白十字の2社です。

大阪重症心身障害児者を支える会

TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2565
担当: 清水

全国重症心身障害児(者)を守る会 創立40周年記念大会に参加して

四天王寺和らぎ苑家族の会 津垣 良隆



私は、守る会に昨年六月に入会しました新入会員ですが、本年四月に記念大会実施要綱を送付していただきました。その中に、「施設見学、東京都立東大和療育センター見学は、五〇名様で先着順」と書いていましたので、すぐにFAXで申し込みをしました。これまでに、重症児(者)施設として奈良市の「パルツァ・ゴードル」さんと神戸市の「こにここハウス」さんを見学させていただきました。

また、在るを重症心身障害児(者)を対象として、療育相談など各種在宅支援事業も行われていました。施設と病院が合体した理想的なセンターであることに実感しました。

見学終了後、玉川水道駅から品川に移動して本大会に参加しました。

参加者名簿で、一四八二人中、約半数は、関東地区から参加した。

シンポジウムのメイン・テーマは「重症児のよりよい療育のために」で、その中で「これからの重症児施設あり方」についてスライドで説明されました。

印象に残った項目は、次の通りです。

- ・昨年、支援費制度がスタートしたが、在宅支援で二〇億円を超える補助金不足を生じて、いろいろな問題点も出て来た。
- ・重症心身障害児(者)施設も機能に応じて、役割に応じた評価と報酬に対する検討が始まった。
- ・全国で障害児の養護学校が足りなくなっている。
- ・子供の習性が、重複し多様化してきている。
- ・教員の専門性が足りない。特殊教育の免許を持つ等ではない。

全国重症心身障害児(者)を守る会 創立40周年記念大会

会場：メンバークラブホテル

診療を行って
います。診療
科目は、小児
科、神経内科、
内科、リハビリ
テーション

二日目は、明治神宮前で記念式典が開催され、天皇皇后両陛下が臨場されました。おこぼれを、坂口厚生労働大臣が挨拶をいただきました。

体験発表も大変立派で天皇皇后両陛下も、しばしばうなずかれておられました。

私達は、親自らの責任と義務を果たすと共に、懸命に生きている重症心身障害児(者)一人ひとりのために今後も活動を続けていきたいと思います。




居宅介護事業所からのお知らせ

事業所:特定非営利活動法人
大阪重症心身障害児者を支える会

事業内容:身体介護 家事援助 移動支援 日常生活支援
(月曜日～日曜日 0時～24時)

受付時間:9時30分～17時30分

※電話等による連絡は、活動時間外もお受けいたしております。(転送)

主たる活動地域:阿倍野区 平野区 東住吉区 住吉区 中央区
天王寺区 浪速区 城東区 住之江区

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

育徳コミュニティセンター内

TEL:06-6624-2555 FAX:06-6624-2565 担当:山村、吉村

ヘルパーさん
募集します!!

熱意のある方、車の運転ができる方、土日を中心に活動できる方、歓迎します!

※登録については履歴書と資格証明書が必要です。

時給1,200円～



「支える会」事務局

〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28 育徳コミュニティセンター2階

大阪府重症心身障害児者を支える会 会長 鈴木 祥子

TEL 06-6624-2555 FAX 06-6624-2565

〈郵便振替〉 00930-9-69598

支える会ホームページのご案内

全国・各地へ

リンクあり!



ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>

メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp

◎様々な御意見・御質問や情報をメールや掲示板にお寄せ下さい。

(会員の方は会費の申に含まれていません)

発行所 大阪府身体障害者団体連合会

〒545-0021
吹田市千里山丘六丁目二七〇一

定価 五〇円

郵便振替口座
〇〇九三〇一九六九五九八
大阪府重症心身障害児者を支える会

編集・責任者

編集委員一同

財政難の嵐は生活やマスメディア等を通して私達に困難な現実を突きつけています。年間四十億円の赤字に苦しみ、オリックスが、今年のシーズンオフの合併を目指して協議を進めることになったそうです。編制が選手連に与える影響を考えると大変お気の毒です。かつ、リーグの経営破綻が長年二リーグ制に突かせ、リーグカップ、リーグカップ制に変える可能性も高まっています。解決策として早くも検証を唱えられています。解決策として、現状においても困難な状況にある重症児者にとらわれることに大きな不安を感じます。

編集後記

～「淡路」療育キャンプのご案内～

日本自転車振興会補助事業

○日 程 平成16年10月23日(土)～24日(日)

○宿泊場所 「南淡路ロイヤルホテル」
兵庫県三原郡南淡路町福良西317番地
TEL 0799-52-3011

○定員人数 親子18組(36人)

○締め切り 平成16年8月31日

(詳細は事務局へお問い合わせ下さい)

○申込方法 FAX・郵送等でも事務局まで申し込んでください。

○申込・問合せ 大阪府重症心身障害児者を支える会事務局

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

育徳コミュニティセンター2F

TEL 06-6624-2555

FAX 06-6624-2565



10倍希釈で
約1リットル当
り300円と驚き
のお値段!ハイオ
ク力で完全に除菌・
消臭!

介護に関わるアイテムの紹介

除菌・消臭剤

家庭での介護で衛生や臭いは非常に気にもなるものです。しかし、安全性は重要なポイントです。現在、支える会では乳酸菌や酵母菌を主体とした除菌・消臭剤を取り扱っています。効果はモニター等をお願いする形でアンケートをとり、良い反響がありましたので取り扱うことになりました。

導入の方及び詳細は事務局までお問い合わせください。

■品名:エコウィン21

■金額:3,000円(1リットル)約10倍(約10リットル)に希釈して使用

※送料・送料等別途(同梱送料)

会費納入のお願い

2004年度の会費の納入時期が参りましたので、会員の皆様にはお手数をお掛け致しますが、会費の納入につきましてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、納入の準備が遅れ、お知らせするが大変遅くなりましたことをお詫び申し上げます。なお、既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

＜問い合わせ＞ 〒545-0021

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

育徳コミュニティセンター内

TEL 06-6624-2555

FAX 06-6624-2565

＜郵便振替＞ 00930-9-69598

大阪府重症心身障害児者を支える会

